

統計処理 ラウンド 授業案	
目的	統計処理の基本的事項を身に付ける
準備物	プリント、スライド（パワーポイント）

1. ラウンドの構成

1 時 間 目	<p>テーマ【統計学とは何か】</p> <p>人口調査・経済調査等から確立した記述統計学や確率論から発生した推測統計学、それらをまとめた近代統計学の祖といわれるアドルフ・ケトラーら統計学に関する事項・歴史を紹介し、現在、各分野で統計学がどのように活用されているのか生徒に推測してもらう。</p>	
	<p>【授業の構成】</p> <p>①統計処理ラウンドについて（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドの目的 ・授業の流れ、内容、本時の達成目標の確認 <p>②統計学とは何か（25分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計学の経緯と現在の統計学の活用例 ・グループで活用例について意見交換 <p>③統計的探究について（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通じて統計的探究の例をあげる（グループ学習・発表） <p>④本時の振り返り・感想記入（5分）</p>	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・スライド ・PC（教師用のみ）
2 時 間 目	<p>テーマ【代表値とヒストグラム】</p> <p>また、統計処理の基本事項である代表値、データ表現の一つであるヒストグラムについて確認する。</p>	
	<p>【授業の構成】</p> <p>①前時の振り返り（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で何を学習したか振り返る、本時の達成目標の確認 <p>②代表値とは（30分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母集団・標本等、統計に関する用語について確認し、主な代表値である平均値・中央値・最頻値について確認する。 ・演習を通じてどの値を代表値として捉えるのかグループで考察する。 <p>③ヒストグラムとは（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムの見方・活用について演習を通じて理解する。 <p>④本時の振り返り・感想記入（5分）</p>	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・スライド ・PC（教師用のみ）

3 時 間 目	テーマ【分散と標準偏差】 母集団での標本の散らばり具合を表す数値として分散・標準偏差が使われることが多い。分散・標準偏差についてその活用について学習する。	
	【授業の構成】 ①前時の振り返り（5分） ・前時で何を学習したか振り返る、本時の達成目標の確認 ②散らばりとは（15分） ・主にデータの散らばりについてどのように比較するのか理解する。 ③分散・標準偏差（演習）（35分） ・分散・標準偏差の求め方や活用について演習を通して理解する。 ④本時の振り返り・感想記入（5分）	【準備物】 ・プリント ・スライド ・PC（教師用のみ）
4 時 間 目	テーマ【相関図と相関係数】 複数の母集団における関係性を相関係数として表すことを学習し、相関係数の活用について演習を通して理解する。	
	【授業の構成】 ①前時の振り返り（5分） ・前時で何を学習したか振り返る、本時の達成目標の確認 ②相関図・相関係数とは（25分） ・相関図の見方と相関係数の作成・捉え方について学習し、複数の母集団間での関係性についてグループで考察する。 ③相関係数（演習）（25分） ・相関係数をどのように活用するのか演習を通して理解する。 ④本時の振り返り・感想記入（5分）	【準備物】 ・プリント ・スライド ・PC（教師用のみ）

2. 指導の視点

- ・「どうすれば生徒の思考が促進するか」という視点で関わる
 （問いかけをしたり、視点をかえさせてみたりなど）
- ・信じて待つ・関わる
 （議論が明らかに違うこともあるかもしれないけど、間違いを指摘するのではなく生徒自身が気づくことが大事です）